

設立趣旨書

森は、4億年以上も前から、私たち陸上生物全体のゆりかごであり、生命の源泉としての役目を果たす大切な空間として存在してきました。私たち人類も、その大きな恩恵を受けて、文明を進歩させてきました。

特に我が国は、モンスーン気候と地形の影響を受けて、国土の三分の二が森林であるという、世界でも有数の森林列島としての立地と発展を遂げてきました。

しかしながら、産業革命以降の文明の高度化に伴う、エネルギー革命やグローバル化の波を通じて、我が国の森林の存在は経済システムから乖離し、林業は絶滅寸前となり、里山を介しての森と人びとの関わりは極端に希薄になり、この半世紀の間に、人工林や里山を主体に、森の荒廃が急速に進んでいます。

森が無言で、私たちに与え続けた、美しい風景、清浄な水や空気、環境や災害上の安全、癒しや健康などの、いわゆる森の公共的機能が、どんどん失われ続けているのです。これらの森とそのシステムを、持続可能な形で再生させ、保全し、豊かな森として、次世代に引き継いでゆくことが、今、私たちに強く求められています。

私たち、全国森林インストラクター神奈川会は、上述のような現状認識と価値観を共有する仲間たちが集まって、平成20年4月に発足した、任意団体であります。私たちは、

1. 個々のメンバーが地域のボランティアと共同で取り組む、森林の再生・保全活動、
2. 森林あるいは環境の重要性を、子どもたちを含めて多くの人たちに、理解し、共感してもらうための森林環境教育や観察会などのイベントの実施、
3. 野外での、林業体験やキャンプイベントの実施を通じての体験教育活動、
4. 会員相互間の情報・体験・ノウハウの共有を通じてレベルアップを図る研修活動、

などに取り組んでおります。

私たちの活動は逐年活発化しているものの、県内各地にまだまだ存在する無数の荒廃した山林の存在、一般の人たちの森や環境についての無理解・無関心などの現状を考えると、私たちの目的を達成するためには、さらに活動をパワーアップしてゆく必要があることを痛感するに至っています。

このような背景で、私たちが活動をより強化させ、豊かな森を実現し、次世代に引き継いでゆくためには、より社会的な信頼性を高め、会員の責任感と義務感を強め、活動内容や財務状況等の情報公開により、透明性を確保してゆくためにNPO法人を設立することが必要だとの結論に至りました。

これによって、個人ベースの参加が多かった個々の森林再生・保全活動を、新たな組織ベースに切り替えることにより、活動自体の強化・深化が期待出来ます。

また、荒廃した森林の再生・保全候補地域を、組織として新たに公募してゆく等の新しい戦略により、活動範囲の拡大効果も期待できます。

また、森林環境教育分野においても、教材やカリキュラムの共通化など、自立した組織としての、レベルアップが期待されます。

さらに組織のヴィジョンを明確化し広報することによって、新たな会員の確保に道が開かれます。

これまでの任意団体から法人に移行し、自立し、より積極的に社会への責任をコミットしてゆくことによって、活動を活発化させ、豊かな森の再生と保全、さらには森や環境の重要性をアピールしてゆきたいと思います。

また、これまでのさまざまな団体、組織、個人の皆様との連携もより密接な関係を維持してゆきたいと考えます。

平成 26 年 11 月 28 日

法人の名称 NPO法人全国森林インストラクター神奈川会

設立代表者 佐藤 憲隆